

-----7月1日-----

2019年

※ 今週のアウトルック (7/1~7/5)

先週は、前半にサポートライン突破に失敗したことなどによるリバウンド、及び27日に報じられた米中貿易戦争の一時休戦報道などが、ドル高要因になっているようです。ただ、合意がなければ長続きはしないとの見方も強いようです。

今週は週末に米国雇用統計を控え、様子見的な動きが主になりそうですが、薄商い時を狙った仕掛け的なサポートライン突破を狙う動きもあるかもしれません。

先週ドル円は、火曜日に一時的に107円を割りこんでしまいましたが、その後継続できず、週後半は買い戻しが優勢となり、107円台後半で終了しています。

今週は、週末に米国雇用統計を控え、様子見的な動きが主体となりそうですが、107円割れを狙おうとする動きが出てくる可能性はあります。

また、米国雇用統計が予想を下回った場合には、一気に106円付近まで下落する可能性は考慮する必要はありそうです。

ドル円の予想レンジは106円から109円です。

ユーロ円は、ユーロドルの上昇から123円付近まで上昇していますが、ユーロドルが1.14付近のレジスタンスを突破できない状況が続いており、これ以上の上昇はあまり期待できない状況です。

今週は、ユーロドルがレジスタンスを突破するかどうか大きく左右されそうですが、米国雇用統計の結果が予想外に悪かった場合でも、一概にユーロの上昇とは、結び付かないかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは121円から124円です。

ポンド円は、136円台後半の小さな動きが続いています。今週、米国雇用統計などの結果をもとに、大きな動きがあるとなれば、下落する可能性がいささか高いようにも思います。

ポンド円の予想レンジは134円から138円です。

米国雇用統計が予想よりも悪化していた場合、利上げがより確実視されることとなりそうですが、クロス円の動きがどのような動きとなるのか、予想しづらい状況のように思います。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。